

月	《単元名・教材名》	時数	7	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	学びのとびら	1	算数科の学び方、問題解決の方法やノートのつくり方を共有したり、教科書の使い方を確認したりして、子どもたちが自ら教科書を有効に活用して、主体的、対話的で深い学びを実現できるようにする。			
4	1. 整数と小数のしくみをまとめよう [整数と小数]	5	十進位取り記数法によって表された整数及び小数の表し方についての理解を深め、数学的表現を適切に活用して数の表し方の仕組みを考える力を養うとともに、十進数としての特徴を統合的にとらえようとして、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	整数及び小数について、10倍、100倍、1000倍(1/10, 1/100, 1/1000)したときの位や小数点の位置の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数をつくることができる。	数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法の仕組みを基に図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。	整数及び小数の十進数としての特徴について統合的にとらえたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
4・5	2. 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう [直方体や立方体の体積]	8	立体の体積について理解し、立体を構成する要素に着目して体積の求め方を考える力を養うとともに、数学的表現を用いて体積の求め方を表した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	体積の単位を知り、計算による立方体及び直方体の体積の求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。	体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を統合的にとらえ、説明している。	立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5	3. 変わり方を調べよう(1) [比例]	4	簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養うとともに、伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。	伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係をとらえ、比例の関係を基に問題解決の仕方を考え、説明している。	簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5・6	4. かけ算の世界を広げよう [小数のかけ算]	9	乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、乗法の意味をとらえ直したり今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。	乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	乗数が小数の場合の乗法の意味をとらえ直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
6	5. わり算の世界を広げよう [小数のわり算]	9	除数が小数の場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、除法の意味をとらえ直したり今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。	除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	除数が小数の場合の除法の意味をとらえ直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
6	6. 小数の倍	5	既習の倍の意味を基に基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、倍の意味を図や式を用いて考える力を養うとともに、整数と小数の倍の意味を統合的にとらえたりこれまでの倍の学習を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、基準量や比較量、倍を求めたり、割合で比較したりすることができる。	2量の関係に着目し、基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について図や式などを用いて考え表現している。	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について、整数倍の意味と統合的にとらえたり、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
6	どんな計算になるのかな？	2	小数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を高める。	適切な立式をして、問題を解決することができる。		既習を活用して、どのような式で解決すればよいかを考えようとしている。
7	6. 形も大きさも同じ図形を調べよう [合同な図形]	8	図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考える力を養うとともに、図形を合同という観点で考察した過程を振り返り、合同の観点から既習の図形をとらえ直したり今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに、合同な図形を弁別したりかいたりすることができる。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、合同な図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明している。	合同という観点で既習の図形の性質を見直したり、対角線に着目して合同な図形をとらえたりしたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8・9	7. 図形の角を調べよう [図形の角]	6	三角形や四角形の内角の和について理解し、それを用いて多角形の角の性質を考える力を養うとともに、帰納的及び演繹的に考えるよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	三角形の内角の和について理解し、それを基に四角形や他の多角形の内角の和を求めることができる。	図形の角に着目し、三角形の内角の和についての性質を見だし、それを基に四角形や他の多角形の内角の和について演繹的に考え、説明している。	三角形の内角の和が180°であることを基に、四角形や他の多角形の性質を考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
9	8. 整数の性質を調べよう [偶数と奇数、倍数と約数]	12	偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深め、観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えたりする力を養うとともに、整数を乗法や除法に着目して類別した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	偶数、奇数、及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。	乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の2つの集合に類別してとらえたり、倍数と約数の集合をとらえたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。	整数の性質について、観点を決めて類別したり、倍数と約数の集合をとらえたりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
10	9. 分数と小数、整数の関係を調べよう [分数と小数、整数の関係]	6	整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数、整数の関係について理解し、分数の表現に着目してこれまで学習した分数の意味をまとめるとともに、除法の結果を分数で表したり分数と小数、整数の関係について考えたりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	整数の除法の結果は分数を用いると1つの数で表せることや、分数と小数、整数の関係を理解するとともに、 $a \div b = a/b$ 、 a/b を $a \div b$ とみたり、分数を小数で表したり、小数、整数を分数の形になおしたりすることができる。	分数の表現に着目し、分数を整数の除法の結果としてとらえたり、分数と小数、整数の関係をとらえたりするとともに、それらを分数や式を用いて考え表現している。	整数の除法の結果を分数で表したり、分数と小数、整数の関係を考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

10	考える力をのばそう「差や和に注目して」	2	変化する2つの数量とその和や差に着目し、表に表すことを通して、変化の規則を見いだし問題を解決する能力を伸ばす。		表を活用して、変化する2つの数量とその和や差の規則性に着目し、問題の解決の仕方を考え、説明している。	2つの数量の関係とその和や差を表に表し問題を解決したことを振り返り、価値づけている。
10	考える力をのばそう「日本をおとずれる外国の人たち」	2	既習事項を活用してデータを考察し、問題解決能力や情報処理能力を伸ばす。		表を活用して、変化する2つの数量とその和や差の規則性に着目し、問題の解決の仕方を考え、説明している。	2つの数量の関係とその和や差を表に表し問題を解決したことを振り返り、価値づけている。
10	10. 分数のたし算、ひき算を広げよう [分数のたし算とひき算]	11	分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、通分、約分の仕方や計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、分数の性質や数学的表現を用いて通分、約分の仕方や計算の仕方を考えた過程を振り返り、今後の学習に活用しようとする態度を養う。	分数の性質や通分、約分の意味、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに、通分や約分、異分母の分数の加減計算ができる。	単位分数に着目して、分数の相当及び大小関係や、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	通分や約分の意味や、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の学習に活用しようとしていたりしている。
11	11. ならした大きさを考えよう [平均]	5	平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考える力を養うとともに、平均の意味や平均を求める方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。	概括的にとらえることに着目して、測定した結果を平均する方法や平均から全体量を求める方法を図や式などを用いて考え表現している。	平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
11	12. 比べ方を考えよう(1) [単位量あたりの大きさ]	10	異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量あたりの大きさをういた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、単位量あたりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量あたりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。	異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。	速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
12	13. 面積の求め方を考えよう [四角形と三角形の面積]	11	四角形や三角形の面積の求め方を理解し、図形の構成要素に着目して面積の求め方を考える力を養うとともに、四角形や三角形の面積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて面積を求めることができる。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積を、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
1	14. 比べ方を考えよう(2) [割合]	9	2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、百分率による割合の表し方を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。	2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。	2つの数量の関係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
1・2	15. 割合をグラフに表して調べよう [帯グラフと円グラフ]	8	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断したり、その結論について多面的にとらえ考察したりする力を養うとともに、統計的な問題解決の方法について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的にとらえ考察している。	統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2	16. 変わり方を調べよう(2) [変わり方調べ]		伴って変わる2つの数量の関係を表す式についての理解を深め、伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式、図を用いて変化や対応の特徴について考える力を養うとともに、伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べ、式に表すことができる。	伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表や式、図を用いてその関係を説明している。	伴って変わる2つの数量の関係について、表や式、図を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2	17. 多角形と円をくわしく調べよう [正多角形と円周の長さ]	9	正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えたり図形の性質を見いだしたりする力を養うとともに、円と関連させて正多角形の性質をとらえたり、円周率について帰納的に考察したりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	正多角形の性質や円周率の意味を理解し、円を使って正多角形をかいたり、円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見いだしたり、円を使った正多角形のかき方を考えたり、円周率が一定であることをとらえたりして、説明している。	円と関連させて正多角形の性質やかき方を考えたり、円周率について帰納的に考えたりした過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3	18. 立体をくわしく調べよう [角柱と円柱]	7	角柱、円柱の意味や性質について理解し、図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたりする力を養うとともに、図形を角柱、円柱として考察した過程を振り返り、既習の図形を角柱としてとらえ直したり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	角柱、円柱の意味や性質について理解し、角柱、円柱の展開図をかいて構成することができる。	図形を構成する要素に着目し、角柱、円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見いだし、その性質を基に既習の図形をとらえ直し、説明している。	既習の図形を角柱としてとらえ直したり、角柱、円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

3	考える力をのばそう 「もとにする大きさに注目して」	2	2つの数量の関係について、基準量に着目し、図を用いて考えることを通して、問題を解決する能力を高める。		図を活用して基準量と比較量の関係をとらえ、答えの求め方を考え説明している。	数量の関係を図に表し問題を解決したことを振り返り、価値づけている。
3	算数で読みとこう 「国土をくわしく調べよう」	2	既習事項を活用してデータを考察し、問題解決能力や情報処理能力を伸ばす。		データに着目して、目的に応じて情報を選択して問題の解決方法を考え、解決の根拠を筋道立てて説明している。	目的に応じた情報をデータから読み取り、それらを活用して問題を解決したことを振り返り、価値づけている。